



# 第36回 通常総会迫る

日時 2015年5月24日(日) 午前9時30分～12時  
会場 坂戸市千代田公民館 体育館 (受付は午前9時～9時20分の間)

《発行所》  
若葉台  
第一住宅管理組合  
坂戸市千代田4丁目7番30号  
電話 049-283-7950  
メール:kanri@wakaba1.com  
http://www.wakaba1.com/



今年も第36回通常総会の時期を迎えました。この一年、松本理事長の新しい体制のもと、理事会は理事長の理念である①の環境を維持する、②住みよい環境作り、③高齢化に向けて思いやり触れ合いのある団地、④暮らしのルールに沿った団地生活の意を受け止め、第35回総会で提案した事業計画については、ほぼ遂行してきました。本紙の中で報告したことがあります。報告したことがありますが、管理費等の滞納者対策も法的な手段をとるなど、踏み込んだ対応をしてきました。大規模修繕工事が一応の区切りがついたことで、施設上のことは落ち着いてきました。今年に入り大規模修繕工事から2年、今回排水管更新部分と建築内装部分オプシオン工事の部分など設備工事に対する2年目点検が行われました。3月に各戸にアンケートが配布されたと思いますが、補修工事については4月中に実施となつてい

ます。今年度の事業計画で提案した大きな事業として、建物の耐震精密診断がありました。次ページのの記事で報告していますが、今年度で報告するにいたりませんでした。総会の前後にはご報告ができるのではと考えていますが、もう少しお待ちいただきたいと思えます。今通常総会議案は、普通議決第1号議案から第7号議案までを提案する予定です。今年度特筆する議案は、普通議決第6号議案の電気設備改修工事に関する事案です。団地が開設された当時とは年齢構成にも変化があり、生活の質も大きく変化しています。この工事には住民も期待をしていると思えます。この事業は、昨年の通常総会で承認された中長期営繕計画見直しで2017年度実施計画として示されているものです。今回の総会ではその前段の調査・基本設計を進めるため専門の設備設計事務所へ委託の承認を求めているものです。総会はこのから1年の管理組合の事業を決める大切な場です。是非ご出席くださるようお願い申し上げます。

(文責 広報部)

## 2015年度 自治会総会開かる

4月5日(日) 17時から集会所(5)において総会を開催しました。当日は、朝から全棟手抜き除草、駐輪場の不法駐車撤収、新旧役員顔合わせ、自治会役員会と行事が続く開会が少々遅い17時から、出席代議員(監事2名含む) 23名(委任状6名)の出席のもと開始されました。議長に横田光朗議員を選出、書記として大野小百合・佐藤公子代議員、議事録署名

- 2015年度第36回 通常総会予定議案
- 普通議決第1号議案
- 2014年度事業報告及び決算
- 普通議決第2号議案
- 2015年度事業計画(案)
- 普通議決第3号議案
- 2015年度予算(案)
- 普通議決第4号議案
- 組合業務の一部委託(案)
- 普通議決第5号議案
- 組合管理物の処分(案)
- 普通議決第6号議案
- 電気設備改修工事設計業務委託(案)
- 普通議決第7号議案
- 2015年度役員選出

人として今坂祐輔・富田要代議員が選出され議事は進められました。佐藤自治会長から2014年度の自治会活動を振り返り当初の事業計画には含まれていなかった、子ども花火大会、市長と語るまちかど座談会の開催、市民体育祭の中止の件など説明がありました。次いで決算報告・監査報告と続き併せて承認されました。2015年度の活動計画(案)・予算(案)についての動議がありました。事業計画に一部追加の修正がありました。予算は管理組合助成金と市からの交付金で賄われます。支出の助成金の項で質問等がありました。内容など確認、事業計画案・予算案とも承認されました。役員人事については、会則に従い管理組合理事会三役及び各部長コミニティ部員が自治会役員を兼務することになりましたが、具体的には来る管理組合の通常総会での役員決定後に決めることと承認され終了しました。

(佐藤)

## 文字摺草

現役卒業から3年が経過しようとしている。現役44年間は破天荒サラリーマンだった余韻でいまだに人生設計はない。相変わらずの行き当たりバッタリの人生航路である。昨年の夏からスーパールのパート勤めを始めた。仕事内容は「品出し」。これなら簡単、俺にも出来そう。この考えが甘かった。スーパールの仕事は奥が深く面白い。パン、牛乳、ヨーグルト、チーズ、バター、和菓子、洋生ケーキ。開店時間までにある程度品出し作業を終えなければならない。その間に大量の配送便が到着し荷受作業。戻り引き続き品出し作業。程なく開店。次は雑誌、アイスクリーム、酒類、ドリンク。これらを3名で作業し、午前4時間勤務の終了。徒歩通勤と合わせ一万歩を超える。午後からは若葉見守り隊に参加し子ども達から元気と笑顔のパワーを貰ってくる。栄養補給の一時である。

こんな調子で私の一日は終わる。今日も熟睡間違い無し。(勇)



# 安心の暮らしを目指して

## 施設管理部長 安藤 征四郎

第36回通常総会を前に、今年度を振り返り次年度に目指すものを、施設管理部長と植栽部長に議案書では書ききれない部分について書いていただきました。

一年を振り返って見た時、日常的な施設に関する住民の皆さんの要望等の解決に迫られて来たように思います。中でも一番の関心事である耐震精査診断審査結果について中間報告がありました。

その後耐震総合安全機構JASOで判定会議が行われており、この原稿を書いている段階では結果をお知らせ出来ない状態です。全体の判定結果の報告は、5月末頃となりますのでご了承下さい。中長期営繕計画である2017年度事業の計画電気幹線設備及び、電灯設備改修工事の具体化について、現在電気幹線設備の老朽化及び省エネ対策、老人の安全対策、近年の電化製品の発達による電気容量の大幅アップ、地震時の安全対策等を踏まえ、事業計画を検討している所です。計画に当たっては、基本計画を専門の設計事務所に委託し検討したいと考えておりま



ます。その他駐輪場転倒防止対策及び駐輪場の増設等の要望が来ておりますが、新設時のアンケート調査結果に基づき、増設工事を実施されました。その結果、大幅な追加工事となっており、現在これらの支払いに資金充当中で、転倒防止対策は、支払い終了後と考えており、当面は予定しておりません。ご理解下さい。尚駐輪場の利用についてですが、全て共用部の扱いであり、棟固有のものではありません。皆さんで利用するものです。利用に当たっては、ご理解の上ご利用下さい。尚バイク置場も設置されておりますが、バイクの契約されている方が優先使用となります。利用されて居ない場所は、駐輪場としてご利用下さい。

# 住民の力で緑の環境管理を

## 植栽部長 吉澤 豊

前年度の課題とした、大きく育った高木類の管理を提起してこの一年を活動して来ましたが、市道に面した大木のマテバシイは主幹を伐採してヒコバエに仕立て直しが出来上がり、景色が一変したものととなりました。仕立て直しにより第二世代となったマテバシイは、高木にはしない程よい高さの並木道を目指して管理を進めて参ります。石の広場の密集状態の大木桶木の間伐も課題の一つでありましたが、未実施となりました。他の緑の管理としては、概ね季節に合わせた剪定が出来たものと考えています。



2015年度の活動計画の第一として、住民の出で来ており、これらの対策として、集会所の有効利用等も検討していきたいと考えております。今後とも皆さんの御協力をお願いします。

皆様に密着した棟周りの樹木を「一年に一度の庭木の手入れ」を目標に堅実に取り組むたいと思っております。その上で、石の広場の大きくなり密集状態となった楠木の伐採と強剪定を9月以降に取り組みます。芝生の管理については、毎年5月6月に雑草が繁茂して見苦しい状態の芝生を改善する為、従来芝刈りを6月から始めて7月9月、11月の年4回実施していましたが、今年は5月から始めて6月、7月、9月、11月の年5回実施する事になりました。これを進めるために昨年は住民の皆様には年3回の全棟芝刈りをお願いしましたが、今年からは年2回の全棟芝刈りと年3回の業者に委託する芝刈りとなります。雑草の繁茂については新たな課題が出て来ましたが、それは雑草発芽抑制剤の散布が国の行政指

導により難しくなり、今年から未実施となりましたので沢山の雑草が芽生え繁茂する可能性が出てきます。前年度より始めた「草花のある潤いの環境作り」を進める為の雑草管理と合わせて、芝刈りでは取り除けない雑草を取り除くために7月、9月、4月に全棟手抜き除草の日を新たに提起させて頂き、より綺麗な芝生を実現したいと考えています。

緑の環境管理は「住民の力で出来るものは自分達でやる」の伝統に基づき住民の皆様と植栽協力

会の皆様の協力を頂き推進して行きたいと思います。

# 「ゴミ出し」その後

前号の第156号の本紙で団地のごみ出しルールについて取り上げました。「ごみの出し方が気になってきたが、記事をきっかけに話し易くなった。」「今まで中々言えなかったことがハッキリ書いてありスッキリした。」とか記事に対する反響があるのは嬉しいことです。それから数カ月なにごみの出し方で要望書が管理事務所に送られました。「ごみ集積所の前に何年も前から収集日以外の日にスーパの袋に入れたごみを出している人がいます。ごみ置場に注意書きを付けてほしい。」という内容です。何年も前からとなると深刻です。わかばを読んでいただけなかったのでしょうか。収集日以外に出すのも問題ですが、スーパの袋というのも問題です。ごみ袋は有料ですが、坂戸市が、ごみと資源物の分別の徹底を図るため、市独自の指定袋を平成16年4

(次ページに続く)



# 老前整理とは

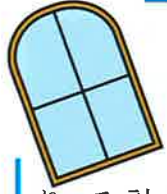
監事 加藤 一雄

先日、マンションセミナーが品川で行われ、当管理組合からも、五名参加しました。高齢化に関する講演会がありました。講師は坂岡洋子氏、インテリアコーディネーターとして活躍し、バリアフリーに関して、ケアマネージャーの資格を取得在宅介護の現場でもが多すぎることを実感し、頭とものを整理する老前整理を提唱して講演を行っていて、同名の本も出ています。当団地でも

一人暮らしの方が亡くなり家族の方が遺品整理をする機会が増えてきておられます。ご本人が大切な思い出として取ってあったものが遺品整理を行うものにとつては、ほとんどがごみとして処理されてしまいます。私の経験でも一人暮らしをしていた母の遺品整理をして、リサイクル業者に来てもらいましたが、購入時に高価なものであっても、今の時代には需要がなくほとんどのものが廃棄処分となりました。

老前整理とは、気力、体力、判断力のあるうちに生る生前整理です。踏み台に上ることができな

分となりました。生前整理の必要性が大きいと思えます。整理には鉄則があります。一度に片付けようとする。最初から完璧を目指さない。片付ける前に収納用具を購入しない。使えらと使うは違ふ。その他の手順もありませんが捨てるには勇気が必要です。物の整理と同時に頭の整理が必要です。判断基準はこれから生活に必要なかどうかです。



計画を立ててレクをやりました。

## 5年生の思い出

吉沢 俊哉 (6年生)

ぼくの5年2組は、みんなが団結し目標を立てて、計画した事を絶対にやりとげようとがんばるクラスです。5年2組のクラス目標は、笑顔150パーセント、はじめ、元気なあいさつです。5年2組の思い出はたくさんあります。クラス行事では、おたん生日会、ハロウィンパーティー、豆まき、クリスマス会、おわかれ会があります。それらの行事では、みんなが計画を立ててレクをやりました。

クラスみんなが笑顔150パーセントになれてとても楽しかったです。学校行事では、運動会、宿泊学習、フレンドパーク、大縄大会がありました。運動会では、運動会リーダーになり大変なこともありました。目標までできました。目標まで大縄大会では、ぼくは大縄リーダーになりました。目標が1300回だったので、休み時間、放課後や土日もみんなで集まって練習しました。本番では、1296回とぶことができました。目標まで

ありました。クラスが団結しきずなが深まることのできて良かったです。宿泊学習では、カレー作りも上手にできましたし、みんなでおふろで円になって背中をゴシゴシして楽しかったです。6年生の修学旅行が楽しみです。

## 植栽管理作業について

植栽記事の中に「雑草発芽抑制剤の散布が国の行政指導により今年から未実施。」とあります。今まではJSにお願いしてきました。なぜ今出来なくなつたかです。地球環境への高まりや、化学物質過敏症などの新たな症例が出現し、農薬散布に対する社会の目が厳しくなつてきていることを受け、平成19年1月農林水産省と環境省から「住宅地等における農薬の使用について」省令が示され、多くの自治体では、国道・県道や公園などで殺虫剤の散布を中止してきました。JSでもこの

一日五分など目標を定め、このことと取り組みましょう。しかし平成25年4月農林水産省と環境省から改めて「住宅地等における農薬の使用について」出された通達を受け、JSとしても平成27年1月農薬散布作業の抑制に取り組むため「農薬散布は原則実施しない」という方針を決定したので、通達が出された背景は「農薬を適正に使用されない場合、人畜及び周辺の生活環境に及ぼすおそれがあり、特に学校、保育所、病院、公園等の公共施設内の植物、街路樹並びに住宅地に隣接する農地及び森林等において農薬を使用するときは、農薬の飛散防止対策の一層の徹底を図ることが必要である」ということからです。これまで出された通達が依然として、児童・生徒が在籍中の学校や開園時間中の公園、庭園等での農薬散布の事例、街路樹等への散布の事例、周辺住民に事前の通知がないままでの散布の事例等が報告され、地方公共団体の施設管理部門、庭園、緑地等を有する土地・施設等の管理等に徹底されていない場合があり、農薬の適正使用を推進し、人畜への被害防止や生活環境の保全を図るため、さらなる協力要請がされたことによります。さらに病害虫防除にあつての遵守すべき事項として植栽の実施及び更新にも、植栽の設置目的等踏まえ、当該地域の自然条件に適合し、農薬による防除を必要とする病害虫が発生しにくい植物及び品種を選定、多彩な植栽による環境の多様性を確保すること。さらに病害虫の発生や被害の有無にかかわらず定期的に農薬を散布することを止め、日常的な観測によつて病害虫被害や雑草の発生を早期に発見し、被害を受けた部分の剪定や捕殺、機械除草等の物理的防除により対応するよう最大限努力することなど細部にわたって出されたのです。より安全な環境での生活を望むなら、JSの方針を受け入れ、これから自分たちの手で緑の環境の維持管理をしていくことの自覚を求められているのだと思います。(広報 佐藤)



(広報部)

月から導入していることは皆承知のとおりです。金額は10リなら10枚で35円、20リなら45円です。マナーを守ることは共同生活の中で、一人ひとりに課せられた最低のルールです。ちなみにこの記事以降ごみ出しの状況がどうなつたか、清掃の方に尋ねてみました。「余り変わらないですネ。昨日も風呂の蓋が出されていて、ごみ袋に入らない大きなので管理事務所を持ち帰り小さく切つたところ。とにかく収集が終わつてから出す人や、収集日も分別も関係なく出す人がいて、あまり気にしてないようですね。」と言っていました。住みよい環境をつくることを心掛けましょう。

(前ページより続く)



投稿

今から2年前広報“わかば” (第150号) をとおして南小学校の状況を紹介します。子ども達に読みたい本が届くようにと、童話など家の中で眠っている本や、不用品本のご寄付についてお願いをしました。その後集荷については管理事務所にもご協力いただき、皆さんから沢山のご寄付をいただき心から感謝申し上げます。今当団地で支援寄付した本は、新刊の購入も含め「わかば文庫」として記のようにシールが貼られて貸し出されています。この取り組みはこれからも続けていこうと思っています。どうぞこれからもご協力をよろしくお願い致します。

本の集荷  
 場所 若葉台第一住宅管理事務所  
 とき 毎週火・木曜日  
 連絡 管理事務所  
 17号棟・名和 090-9835-3128

お知らせ

わかば文庫  
 わかばだいいいあじやうかくかんりくあいいさま  
 若葉台第一住宅管理組合様より  
 ご支援を頂き、新しい本を購入しました。  
 皆さんのもとに届いた思いやりの本です。  
 このお気持ちを忘れないように、  
 わかば文庫のシールを貼っておきました。  
 ※大事に読んで次の人へ、その気持ちを伝えていきましょう。

朝、まだ少し肌寒い桜の開花が待たれる3月28日(土) 東京サマーランド、恒例の行事となったバスハイキングが挙行されました。終業式や卒業式などが終わった春のウキウキする、そして新しい出発を前にしてのコミニテイ部の企画はベストタイミングの楽しい催しです。「ファミリー」の名どおり、15組のご家族と、役員を含め51名の参加がありました。今回はあきる野市にある「東京サマーランド」です。途中、狭山PAに立ち寄り1時間くらいで到着、玄関前で全員の写真撮影、ビッグルームに入り指定の場所に集合し、後は時



東京サマーランド

間まで自由に過ごしました。サマーランドと言うだけに屋内施設は暖かく温水プールがメインです。屋外プールはまだ閉鎖されていましたが、屋外遊園地エリアはチケットを買い、色々楽しめます。おなじみのメリーゴーランドやコーヒーカープ、観覧車などのほかにスリル満点の乗り物が各種あり、若い人たちの歓声が絶えません。お天気が良かったので、私も何年ぶりに観覧車に乗って楽しみました。3時になり、全員の点呼と安全を確認し、無事

に帰路に着きました。三代で参加されていた齊藤小春ちゃんに感想を聞きました。「プールのおおなみがこわかったけれど、あさいとこころであそんだ。なみのこないときは少しふかいところまではいって、プールのみずがとてもしもちよかったです。」とのこと、小春ちゃんは4月に新1年生になる女の子です。きつと良い思い出になったことと思います。今回は三代参加のグループが多かったようです。団地内の交流を深める意味もあり、安心して参加できるので、来年も大勢の皆様のご参加をお待ちしています!!!

(広報 羽磨千賀子)

至福の時間を過ごして

2015ジャズライブ

2月1日(日) 14時”ジャズライブ2015”は開演しました。ギター菅野義孝、ベース清水昭好のお二人によるライブは今回で2回目です。チラシでもお知らせしましたが、菅野さんは、演奏活動の他



にジャズセミナーなどジャズの楽しさを広める活動に力を注ぎ、清水さんも宇崎竜童ジャズバンドや武田真治との共演など幅広く、それぞれ別々の場で活躍をされています。お忙しいのを承知で、菅野さんが坂戸の住民という親近感もあり今回も声を掛けて見ました。気持ち良くご返事をいただきました。ライブは実現しました。会場の音響は前回お褒めを頂いていたのですが、舞台装置などコミニテイが中心となり準備をしました。開演時には、集会所に準備した椅子が間に合わない程沢山の方が聞きに来てくれました。酒とバラの日々に始まり、ムーングロー、イエスタデイ、いそしぎ、アロー

ントゲザー、シエルブルーなど途中休憩がありました。6曲が演奏されました。今回は菅野さんのヴォーカルもあるとチラシを作成する段階で聞いていましたので楽しみにしていました。前半の3曲目にステイビーの曲「レイトリー」が披露されました。まだ勉強中と言っていました。女性に比べ男性ヴォーカルは個性が問われがち、これから楽しみです。アンコールはお馴染みのティクファイブとスマイルの2曲をサーブとして頂きました。演奏の合間に楽器の紹介があったのですが、菅野さんのギターは1974年製、清水さんのベースは2000年製のチェコ製(ベントツが買える値段とか・)ということでした。とてもいい音に出会ったような感じがしました。私が最初にジャズと出会ったのは上京して間もなく渋谷の喫茶店に恐るおそる入った時ですが、それからつかず離れずジャズは私の中にいたようです。ジャズは大人の音楽という人もいますが、気楽に聞いていいのだと思います。聞くだけで自分の中に眠っている思いを蘇えらせてくれるからです。数日後通路でKさんに出会った時ライブの感想を聞いてみました。集会所のイベントは殆ど参加したことがなかったそうですが「生演奏っていいですね。とても良かったです。」と言っていました。大きい会場での演奏会とは違った良さのあるライブだったのではないのでしょうか。(広報 佐藤公子)

編集後記

▼梅の花が咲き、杏の花が咲く。そして桜の花と団地の中の植物たちは季節を運んできてくれる。今年、石の広場のソメイヨシノの開花は3月23日だった。団地の桜は競いあうように咲きましてくれました。以前なら入学式を演出する花として桜の花は必ずあったが、この頃は残念ながら散り急ぐ花の中となつている。

▼今年度最後の号となった。私にとっても最後の号になる。多くの方にご協力いただきながら欠番を作らないで発行できたことを良しとすることに、長い間ありがとうございました。(佐藤公子)